

## 家族で楽しむ食事作り

1月7日、保健福祉センターで「ふれあい交流クッキング」が開催されました。

この教室は次世代を担う子供たちに住田の安全・安心な食材を活用した食の体験などを通じ、生きる力を育む食環境作りを推進していくことと食生活改善推進協議会の協力のもと、冬休み中の町内の小学生と保護者を対象に行われ、児童や保護者約30人が参加し、家族一緒に楽しむ食事「テーマに清流豚の手作り餃子」や「野菜たっぷり中華風スープ」づくりに挑戦しました。



楽しく料理を作る児童たち

## 寒い冬に熱戦展開中!

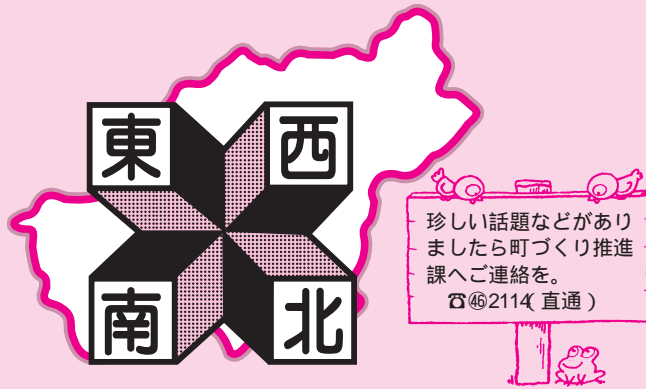
1月6日から生涯スポーツセンターを会場に「住田町長杯争奪バレーボール選手権リーグ」が行われ、熱戦を繰り広げています。

この大会は冬場の運動不足解消と選手との交流を目的に毎年開催されており、今回で27回目となります。

各チームリーグ戦の10試合を戦い、成績上位の6チームが3月8日に開催される決勝大会へ駒を進めます。



白熱した試合を繰り広げる選手たち



## 祖父母と一緒に小正月の行事を体験!



自分たちで丸めた団子を飾る園児と祖父母たち

1月15日、世田米保育園(佐賀篤園長)で「みずき団子作り」が行われました。

この行事は最近の家庭では「みずき団子」を作らなくなっていることから、地域の小正月の伝統行事を体験することを目的に祖父母交流の一環として毎年行われています。

この日は、おじいちゃんたちがミズキ3本をホルルのステージと玄関、廊下に設置する作業を行い、おばあちゃんたちは米の粉をこね、園児たちは赤、黄、緑、白の4色の団子を一生懸命丸める作業を行いました。

園児たちは出来あがった団子を一個ずつ飾り、色とりどりに飾られ完成した「みずき団子」の前で祖父母と一緒に笑顔で記念撮影をしました。

## 世代超え音楽で交流

1月13日、住田高校音楽部と吹奏楽部が有住保育園(松田栄吉園長)で「ミニコンサート」を行いました。

このコンサートは夏と冬に開催し、日頃お世話になっている地域への恩返しを」と町内の保育園や福祉施設を訪問し世代を越え音楽で交流しています。

この日は、吹奏楽部が「アンパンマンのマーチ」などを披露し演奏に使う楽器の紹介を行い、音楽部は園児と一緒に「崖の上のポニョ」を歌うなど楽しく交流しました。



吹奏学部の演奏に聞き入る園児たち

## オリジナルの凧作りに挑戦!

1月10日、農林会館で冬休み中の小学生を対象に「凧作り教室」が開催されました。

この教室は、せたまいまちづくり委員会(菅野義保会長)が昔からの正月遊びを通して世代間交流をしようとして企画し、約40人が参加しました。

凧作りが初めてという児童も多く、ベテランの地域の方々に教わりながら、和紙に好きな絵を描き、竹ひごを組んで紙を張り、オリジナルの凧を完成させました。



完成した凧を持ち笑顔で記念写真

## 死亡事故ゼロを目指す



決意表明をする村上交通指導隊長

1月7日、農林会館で町交通指導隊(村上武也隊長)と町防犯協会連合会防犯隊(佐藤裕雄隊長)の「合同初点検」が行われました。

この初点検は地域の安全・安心のまちづくりに決意を新たにするとともに、隊の志気の高揚を目的に毎年行われているもので、交通指導隊員9人と防犯協会連合会防犯隊員4人が出席しました。

多田町長が両隊員の服装、姿勢、態度を点検し「各隊は安全・安心の確保に向け万全を期し精進してほしい」と訓示しました。

また、村上交通指導隊長が「死亡事故ゼロ継続と飲酒運転の撲滅を目指します」と述べ、佐藤防犯隊長は「防犯思想の普及を図り、犯罪と青少年非行ゼロを目指します」と決意表明しました。

各隊員たちは合同初点検を終え交通事故撲滅や犯罪の未然防止の指導にあたる心構えを新たにしました。